

Captain English Course I, II Revised

生徒も教師も熱中できる授業



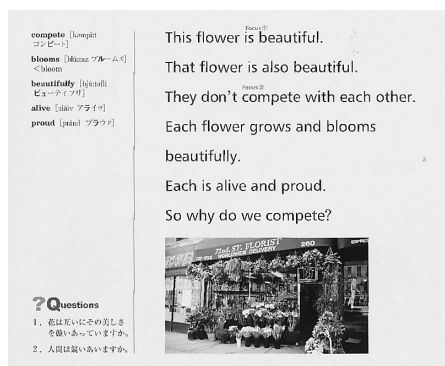
黒丸栄子

採用する教科書が変わったりした時は、どんな内容なのか興味津々でページをめくって読みだすが、話題が身近で生徒の興味をひくものを取り上げられていれば、教える方にも俄然やる気である。教師の表情が浮き浮きして饒舌になると、その熱が生徒に伝わり、彼らからの「質問＝ツッコミ」も多くなる。そういうやりとりから生徒も教師も日常生活を向上させるヒントが浮かぶ。いわゆる「転機になる一言」が生徒の将来を変えるかもしれない。それが教職の醍醐味なのではないかと定年間近にして思っている今日この頃である。

さて、*Captain English Course I Revised* の Lesson 1 は Not No. 1 but Only One と題されている。これはとても有名な歌（歌謡曲）のテーマを扱ったレッスンで、同じ教科書の Have a Break! 1 にこの歌の英語詞が掲載されている。私は、これこそ上記のような授業に打ってつけの題材だと考え、これをどのように読み取り、さらに歌と結びつけた授業をするかを考えてみた。

読み取り

Lesson 1 の Not No. 1 but Only One は、実はスマップのヒット曲『世界に一つだけの花』をモチーフにしたレッスンである。この歌はあまりにも有名なので「何の歌か」とか「どんなメッセージが込められているか」等という質問に、今どきの生徒たちは「言うまでもない」という顔をするかもしれない。あるいは題名の意味を読み取ったところで微笑みを浮かべる純心な生徒もいるかもしれない。



Lesson 1 Part 1

内容を訳してみるのとはそれほど難しくないとと思うが、Part 1 では compete と each を key word として生徒に発問してみたい。

“Why do you compete with others?” という質問に対しては、生徒たちにも受験戦争に限らず小さい頃からさまざまな経験があるだろう。きょうだい同士でのお菓子の多寡や親の愛情の奪い合い、はてはクラス内での体育祭、文化祭時の主役の取り合いなど数え上げればきりが無い。例えば次のような表現をする生徒もいるだろう。

“I belonged to the tennis club in my junior high school. I won and got the first prize at the competition.” その時の気持ちは “I felt very fine.” などと言うかもしれない。

また逆に負けた時の悔しい気持ちを表現させてみることも大事だと思う。

さまざまな場面で No. 1 にのぼりつめて優位に立ちたいというのは誰にでもある欲望だと思うが、その価値観のみで生涯挑戦し続けるのは無理だ。自分だけがトップに立って良い気持ちになる

と、やがて孤立し幸せから遠のく。人は一人では生きられない。

each に関しては次のような質問をしてみたい。
“How many ancestors does each person have?” 今どきの生徒たちは先祖ということばにあまり馴染んでいないのかもしれないが、両親の曾祖父の代まで遡ってみると、16人の先祖の血が一人一人に流れているということになる。その16人だって膨大な数の先祖から、さまざまな個性を受け継いでいるのだ。

この地球上に住んでいる植物も動物も、もちろん人間も、これほどまで different で unique なのだから、Part 2 の Each of us is only one. という文も実感できるだろうし So let's grow and bloom. という最後の文も深くとらえてもらえるのではないだろうか。

自己表現

読みとった後には、最後の文に応えるように一人一人の気持ちを英文で表現させてみたい。花が美しく咲いているさまでも、この地球上で only one の存在である私がどういう生き方をするのか、つまり夢や目標と言ってもいいが、それを書かせるのもいいと思う。

例えば、私は花が好きなので次のように書いてみた。

“I Like Flowers”

I like violets, cherry blossoms, hydrangeas and roses.

Violets are very tiny and pretty, and their colors are very beautiful.

Cherry blossoms are pinkish and gorgeous and they encourage me when I start my new term.

Hydrangeas gradually change their colors; from white, pink to light blue and deep blue.

Roses smell sour-sweet and I like the faint scent of them.

They are all different and unique.

I can't say which one is No. 1 because each of them is only one.

元気に歌おう

この授業の後、コラムページの Have a Break! 1 を使って、『世界に一つだけの花』を英語で歌ってみよう。ここに掲載されている英語詞は、意味もわりとオリジナルの歌詞に近く、なによりリズムとメロディが原曲と同じように無理なく歌えるようになっている。

Let's Sing a Song いっしょに歌おう

One of a Kind 世界に一つだけの花

No need to struggle to be Number 1.
Just be yourself, be the Only One.

Look at the flowers that stand in the shop.
Each has a beauty that makes your heart stop.
We all have our favorites, but one thing is sure.
Flowers will bloom with a beauty that's pure.

Have a Break! 1

読解は教師が一通りして、みんなで音読をする。手順としては、まず各行の key word のみを練習してみる。次に全文を読むときに key word の部分に拍子をいれて歌う等の練習をすれば、だんだん歌えるようになるはずだ。

付属の指導用音声 CD に入っている楽曲は、日本で活躍している英語ネイティブのアーティストによって録音されたもので、とても元気に歌っているのでひきつけられる。2 行目の Just be yourself, be the Only One. を軽く歌えるようになれば楽しくなり、生徒たちも全部歌ってみようという意欲が沸いてくるだろう。

なお、*Captain II Revised* にはユーミンが歌う『守ってあげたい』の英語版が載っている。内容は恋愛物だしサビの部分の You don't have to worry, worry ... はとても歌いやすいのでこちらもおすすめである。

(くろまる えいこ・元横浜創栄中学・高等学校教諭)